

ESGへの取り組み ガバナンス

エンビプログループは、
企業理念をベースとして
コーポレートガバナンス体制を推進し、
会社の持続的成長と
中長期的な企業価値の向上を目指します。



Governance

Governance

企業理念をベースにコーポレート・ガバナンスを推進

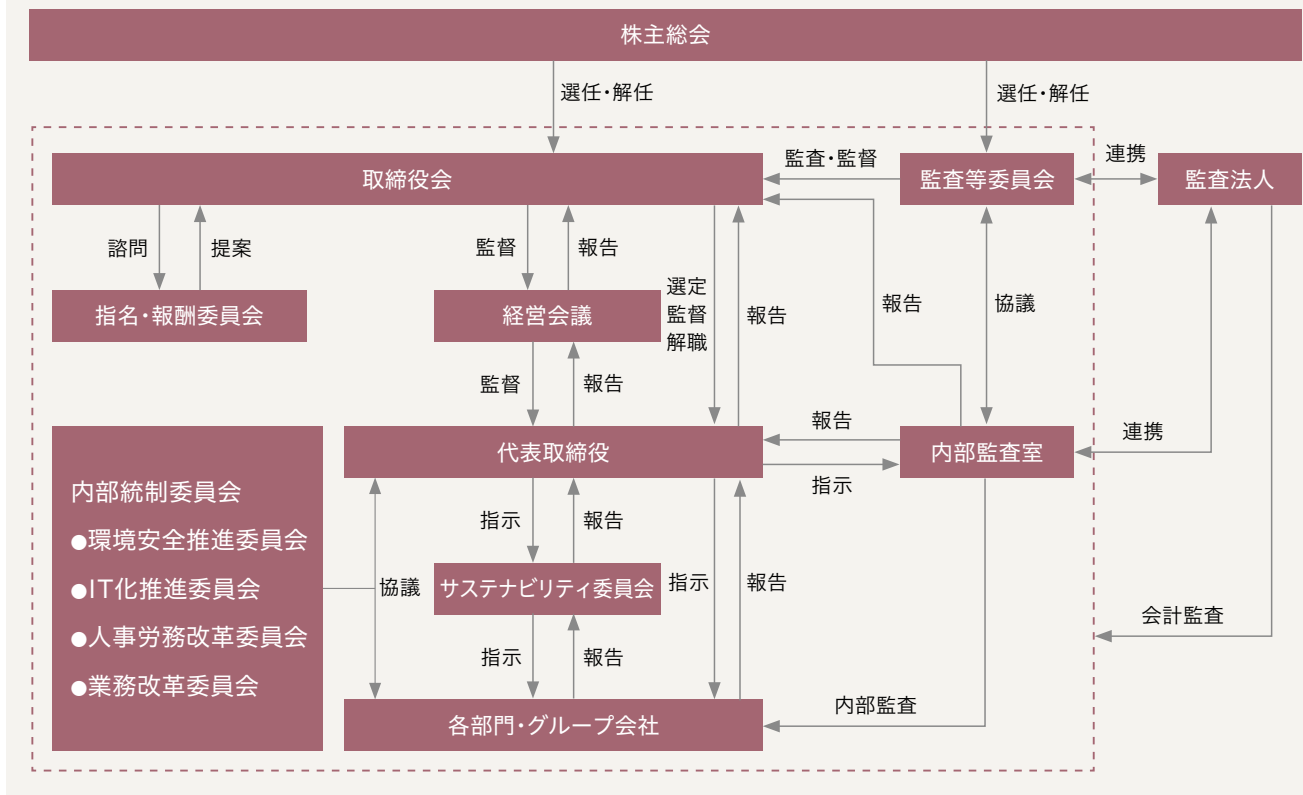
コーポレート・ガバナンスに対する基本的な考え方

エンビプログループは、企業理念を組織の隅々にまで浸透させることが最大のガバナンスであり、成長を持続させるための組織に規律をもたらすガバナンスの強化が経営の重要な課題と認識しています。持続的な成長と中長期的な企業価値の向上を目指して、当グループでは経営判断の軸となる中期経営計画

コーポレート・ガバナンスの変遷

2010年	<ul style="list-style-type: none"> ●現：株式会社エンビプロ・ホールディングス設立 ●執行役員制度の導入
2011年	<ul style="list-style-type: none"> ●内部統制委員会を設置
2013年	<ul style="list-style-type: none"> ●東証二部上場
2015年	<ul style="list-style-type: none"> ●「内部統制基本方針」を決定
2016年	<ul style="list-style-type: none"> ●指名・報酬委員会を設置
2017年	<ul style="list-style-type: none"> ●監査等委員会を設置
2018年	<ul style="list-style-type: none"> ●東証一部上場
2019年	<ul style="list-style-type: none"> ●招集通知の早期発送(3週間以上前)
2021年	<ul style="list-style-type: none"> ●中期経営計画(サステナビリティ戦略)の開示 ●サステナビリティ委員会を中期経営計画推進機関として重要な会議体へ変更

コーポレート・ガバナンス体制図



(サステナビリティ戦略)を2021年に開示いたしました。今後も中期経営計画(サステナビリティ戦略)を推進し、経済的価値・環境的価値・社会的価値を高めるとともに、それらを持続するためのガバナンスを強化していきます。

取締役会 2021年度 開催回数15回

当社の取締役会は、取締役12名のうち8名を社外取締役(うち4名は監査等委員)で構成しており、原則として毎月1回開催して

います。取締役会は、当社の業務執行に関する重要事項を決定するとともに、取締役の業務執行状況を監督しています。2021年度の取締役会の開催回数は15回であり、各取締役は100%出席しています。

取締役会の運営では、議長である当社社長が全取締役を尊重して意見を引き出し、短期的な目線の良し悪しではなく、一見して因果関係のない方針や施策の話など、中長期的な事業の発展を意識した意見が発言されています。

スキルマトリックス項目選定理由

- 企業文化につきまして、当社は企業理念を組織の隅々まで浸透させることが長期利益の最重要課題であり最大のガバナンスであると考えているため採用しております。
- 生産技術につきまして、事業への投資に伴う工場の拡張や新技術導入を行うにあたり 当社の事業領域や生産技術への知見が必要であるため採用しております。
- CN(カーボンニュートラル)、CE(サーキュラーエコノミー)の業務執行につきまして、当社はCN実現やCE事業展開に向けた知見が必要であるため採用しております。

監査等委員会 2021年度 開催回数14回

監査等委員会は社外取締役4名で構成されています。監査等委員である取締役は株主総会や取締役会へ出席する他、社内各種会議に積極的に参加し、管理体制や業務の遂行など会社の状況の把握に努めています。また、監査等委員会は代表取締役社長と定期的に会合をもち、会社に対処すべき課題、監査等委員監査の環境整備の状況および監査上の重要課題などについて意見交換し、意思疎通を密に図っています。内部監査室、監査法人と緊密な連携を保つため、定期的に連絡会を開催するなど積極的に情報交換を行い、監査機能の充実を図っています。また、内部監査室のほか、内部統制部門からも情報を収集することにより十分な監査を行っています。

指名・報酬委員会 2021年度 開催回数3回

指名・報酬委員会は、代表取締役1名、独立役員である社外取締役4名の5名で構成されており、取締役会の諮問機関として取締役(監査等委員であるものを除く)の候補者の選任や報酬などについて事前審議を行っています。

経営会議 2021年度 開催回数12回

経営会議は、当社常勤取締役および監査等委員長で構成され、内容に応じて執行役員および各部長、ならびにグループ会社の取締役をメンバーに加え、原則として毎月1回以上開催しています。経営会議は当社の個別具体的な業務執行に関する重要事項を決定するとともに適時開示の意思決定を行います。

役員スキルマトリックス

役職	氏名	在任年数	企業文化	経営戦略	生産技術	海外	CN・CE	財務・会計・税務	法務コンプラ	人事	IT	IR	専門知識
代表取締役社長	佐野 富和	12	●	●	●								
専務取締役	佐野 文勝	12	●	●	●	●							
常務取締役	春山 孝造	7	●	●	●	●							
取締役	竹川 直希	3	●	●			●	●	●			●	
社外取締役	村上 美晴	12		●									
社外取締役	黄 圭燦	12		●									経済学
社外取締役	宮木 啓治	4		●									
社外取締役	野村 浩子	新任								●		●	多様性推進
社外取締役 (監査等委員)	井手 祥司	11		●						●	●	●	
社外取締役 (監査等委員)	和田 卓	8				●			●				調達業務
社外取締役 (監査等委員)	神谷 寛	1					●						
社外取締役 (監査等委員)	篠原 清志	新任		●		●			●				政策
常務執行役員	石井 明子	-	●										
執行役員	中作 憲展	-	●	●			●					●	
執行役員	今井 健太	-	●		●								
執行役員	杉山 泰司	-	●					●			●		

サステナビリティ委員会 2021年度 開催回数12回

サステナビリティ委員会は、当社常勤の取締役、執行役員および一部の関連部門長で構成され、月に1回の頻度で開催しています。サステナビリティ委員会は、当グループと社会の持続的発展を同時に実現させるための戦略である中期経営計画(サステナビリティ戦略)の推進を目的とし、代表取締役の意思決定の補助機関として、戦略の推進状況、新規事業およびM&Aなどを含めた将来的な方向性について、長期的な視野に立ち、フレキシブルかつ活発に議論・検討を行っています。

内部統制委員会 2021年度 開催回数13回

当グループでは、当社社長を委員長とする「内部統制委員会」を設置しています。同委員会は4つの下部小委員会(環境安全推進委員会、IT化推進委員会、人事労務改革委員会、業務改革委員会)から構成され、リスクの抽出、対応策を策定し、啓発活動を含め当グループ横断的な内部統制の構築運用を行っています。グループ各社の社長、下部組織である小委員会のメンバーからコンプライアンスに関する重要な事項ならびに訴訟など法務リスクに関する事項、その他経営に重要な影響を及ぼすおそれのある事項について報告するとともに方針を定め意思決定をしていくこととしています。